

## 実施計画（R7）の概要

### I 計画の概要

第7次鹿角市総合計画の基本構想に掲げた将来都市像「ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角」を実現するため、暮らしを守る5つの基本戦略と都市経営の視点で攻める3つの経営戦略に沿った32の取組方針を効果的に推進できるよう、前期計画の最終年度となる令和7年度に具体的に取り組む事業をとりまとめた。

前期基本計画で設定した目標を実現すべき「仕上げ」の年であることを強く意識し、重要課題である女性・若者の定着に向けた雇用・産業の創出と人口構造の若返り、脱炭素化やデジタル化に取り組むほか、令和8年度からの後期基本計画につなげるためのステップアップとなる新たな取組も追加している。

なお、本計画の期間は、令和7年度の単年度であり、令和8年度以降については、事業の継続性等を考慮し、参考として掲載している。

### II 重点事項等の推進

将来都市像の実現に向けて、前期基本計画で取り組むこととした重点事項等を次のとおり推進する。

#### 基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える

##### 取組方針1 地域産業の成長を支援します

- ・ 地場企業のさらなる成長を促進するため、事業の高度化に資する設備投資やDXに資するソフトウェア等の導入費用を支援する。
- ・ 新たに、市内事業者による女性・若者に選ばれる魅力的な職場環境づくりや人材育成を支援し、新しい視点やアイデアによるイノベーションの促進や労働力の確保を進める。
- ・ スマート農業の推進に向け、大規模農業法人や規模拡大を目指す経営体等によるRTK基地局のさらなる利用を進めるほか、きゅうりや果樹などの労働集約型作物についても、本市の実情に合った技術導入を検討しながら、農業経営の維持・拡大を図る。

## **取組方針 2 市民等の意欲のある就労・就農を支援します**

- ・ 若い世代の地元定着に向けて、地元企業を身近に感じる取組により、地元就職意識の醸成を図るほか、地元企業を対象とした大学生獲得セミナーを開催する。
- ・ 女性や若者の就職や管内事業所等への定着を後押しするため、資格取得助成による能力向上を支援する。
- ・ 就労を希望する方が幅広く職業選択できるよう、ICTを活用した動画編集や事務代行などの研修機会を提供し、柔軟な働き方ができるテレワーカーの育成を推進する。

## **取組方針 3 市内外から産業の担い手を確保します**

- ・ 中小企業者が実施する求人活動への支援として、若年層へリーチできるインターンシップ募集サイトへの掲載やSNSを活用した広告運用を追加し、若年者の採用機会の拡大を図る。
- ・ 外国人材の継続的な獲得につなげるため、企業等における外国人技能実習生等の受入態勢整備を支援するほか、円滑な受け入れを目的として、県と連携し、外国人材受入サポートセンターによる外国人材セミナーに取り組む。

## **基本戦略 2 元気で健やかな暮らしを支える**

### **取組方針 4 心身の健康づくりに取り組みます**

- ・ 子どもを感染症から守り、子育て世帯の経済的・精神的な負担軽減を図るため、インフルエンザ予防接種の助成対象を拡充し、13歳未満までから高校3年生相当まで引き上げる。
- ・ 若年女性の健康づくりを支援するため、乳がん検診や子宮頸がん検診の超音波検査、マンモグラフィの助成を拡充する。また、妊産婦等への支援を充実させるため、妊婦を対象としたRSウイルスの予防接種を実施する。
- ・ 不妊治療について、新たに先進医療や保険対象外の治療を拡充するほか、通院交通費を対象とした支援を追加する。

### **取組方針 5 適切な医療を受けられる体制を整えます**

- ・ 医師の確保と地域医療の充実を図るため、本市での医療機関の開設を支援する。また、医師修学資金の新たな貸与者の掘り起こしを行うとともに、既貸与者が将来的に本市で医師として活躍できるよう、本市での就業に向けた受入態勢を整備する。
- ・ 地域医療を堅持するため、かづの厚生病院の非常勤医師の派遣に対し助成を行うほか、中核病院の医療機能の維持・充実にかかわる運営費等を支援する。
- ・ 地域医療体制の充実を図るため、県、小坂町との連携により、第4期の鹿角地域医

療多職種連携推進学講座（寄附講座）を開設する。

#### **取組方針 6 結婚の希望が叶うよう応援します**

- ・ 市主催の婚活イベントにおいて、自身を磨く魅力アップセミナーやスキルアップセミナーの実施によりイベント参加への意欲を高めてもらうほか、市民団体や結婚サポーターによる出会いイベントの開催を支援し、参加者にアンケートを実施するなどニーズを捉えながら、結婚希望者の新たな出会いの場の創出につなげる。
- ・ 新婚世帯の経済的負担を軽減するため、39歳以下の夫婦に対して住宅取得費や家賃費用を支援する。

#### **取組方針 7 地域ぐるみの子育て支援を充実します**

- ・ 鹿角市こども計画に基づき、妊娠前から育児にわたる切れ目のない支援を行うとともに、支援を必要とする子どもや妊産婦等へのサポートなど、子育てにおける相談支援機能の充実を図る。
- ・ また、二つ目の家庭的保育事業所の認可により、多様な保育ニーズへの対応と途中入園の受け皿の確保を図る。

#### **取組方針 8 高齢者のいきいきとした暮らしを支援します**

- ・ 介護予防に資する住民主体の活動の場の開設・運営費の支援を拡充し、シルバーリハビリ体操の普及活動の場として機能するよう、取組の強化を図る。
- ・ 認知症にやさしいまちづくりを進めるため、認知症の方や家族の支援ニーズと認知症サポーターを結びつけ、生活面の早期支援を行う「チームオレンジ」の発足に向け、オレンジサポーターの養成や活動を支援する。

#### **取組方針 9 誰もが尊重され、社会参加できる地域をつくります**

- ・ 引きこもりやマイノリティが抱える課題など、顕在化しにくいケースにも対応するため、重層的支援体制整備事業実施計画に基づき、あらゆる分野での相談支援等に係る機能強化を図りながら、関係機関と連携して支援を行う。
- ・ 世代や属性を超えた交流による地域づくり支援について、地域づくり協議会との連携を図るほか、支え合い活動に対するニーズ調査を行いながら、体制を強化する。

### **基本戦略 3 快適で安らぎのある暮らしを守る**

#### **取組方針 10 衛生的で良好な生活環境を確保します**

- ・ 水道水の安定供給を図るため、給水管の漏水調査や老朽管の更新を進めるほか、料金改定による経営安定に取り組む。

- ・生活排水対策では、下水道等加入に係る支援を継続するほか、合併処理浄化槽設置整備事業補助金に宅内配管設置工事費への支援を追加し、合併処理浄化槽への設置替えを促進する。

#### **取組方針 11 安全・安心な住まいづくりを進めます**

- ・民間住宅における住環境の向上を図るため、子育て世帯や高齢者世帯へのリフォーム支援を継続するとともに、省エネ化を促進するため、断熱改修等工事の対象工事の一部を拡充する。
- ・「管理不全空き家」を防止するため、所有者等への適正な管理を促すとともに、危険老朽空き家の解体支援に関する所得要件等を緩和することで、相談・申請しやすい体制を構築する。

#### **取組方針 12 地域に合った公共交通手段を確保します**

- ・生活バス路線の運行支援を継続していくほか、公共交通の維持確保を図るため、路線バス定期券の購入費の一部を助成し、利用促進に取り組むとともに、交通弱者や高校生を持つ保護者の負担を軽減する。
- ・鹿角花輪駅から鹿角高等学校の区間を運行するバス路線への助成を継続し、通学する高校生の交通手段の確保を図る。

#### **取組方針 13 ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます**

- ・鹿角広域行政組合・循環型社会形成推進地域計画に基づき、令和8年度からの基幹改良に向けて、環境影響調査と性能発注による発注支援業務を実施する。
- ・秋田県ごみ処理広域化・集約化計画を見据え、鹿角・大館圏域での効率的な廃棄物処理の体制について検討を進める。

### **基本戦略 4 暮らしの安全・安心を高める**

#### **取組方針 14 緑と水の映えるまちの環境を守ります**

- ・組織的・計画的な森林施業を推進するため、森林経営計画に基づき実施される再造林および収入間伐の施業を支援する。また、補助対象とする施業に下刈りを追加し、再造林及び下刈りにかかる補助率の上限を拡充する。
- ・森林機能の維持に向け再造林を推進するため、新植のための小規模作業道の開設を支援する。
- ・クマ等による被害への対策として、集落や住宅地への誘引を減らすための、未利用果樹の伐採に要する費用への助成を継続する。

#### **取組方針 15 災害への対応力のある地域をつくります**

- ・ 秋田県総合防災訓練の実施を通じて、県や防災関係機関との連携により災害発生時の応急対応を実践的に訓練し、対応する力を身につけるとともに、防災意識の高揚を図る。

#### **取組方針 16 火災や救急に対する体制の強化を進めます**

- ・ 初期の応急手当の実施による救命率の向上に向け、自治会との協定締結によりファーストレスポnder制度を導入する。
- ・ 老朽化した十和田分署の移転新築により、十和田地区における防災拠点としての機能を維持するとともに、職場環境の改善を図る。
- ・ 高視認性活動服等の各種装備を整備するほか、出勤報酬、年額報酬を引き上げるなど待遇改善を図り、消防団員の士気向上、団員数の確保につなげる。

#### **取組方針 17 災害に強いまちの基盤整備を進めます**

- ・ 融雪施設について、市道玉内小豆沢線の高圧受電設備を更新し、冬期間の安全な通行を確保する。

#### **取組方針 18 防犯や交通安全を進めます**

- ・ 消費生活相談のデジタル化を進めるための新システム（全国消費生活情報ネットワークシステム）を整備し、消費者の利便性や相談サービスの質の向上など、消費生活相談センターの機能を強化する。

### **基本戦略 5 未来に羽ばたく人材を育てる**

#### **取組方針 19 子どもから青少年までの生きる力を育みます**

- ・ 中学校部活動の段階的な地域移行を進めるため、地域移行コーディネーターを配置し、学校と各競技団体等の調整を行うとともに、モデル団体の活動の幅を広げて支援し検証することで、子どもたちのよりよいスポーツ・文化芸術環境を整備する。

#### **取組方針 21 自ら学び、行動する社会人を支援します**

- ・ 地域の知の拠点である十和田図書館のオープンに向けた、必要な環境整備を進めるとともに、オープンを多くの市民に喜んでいただけるよう、記念イベント等を開催する。
- ・ 文化の杜交流館コモッセの開館10周年を記念し、市民参加型の自主事業を充実させ、文化芸術に触れる機会を創出する。

### **経営戦略 1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む**

## **取組方針 22 人や地域の活力を生む交流を促進します**

- ・ 地域課題の解決や地域活性化を担う人材を生み出すため、「かづコトアカデミー」を開催するとともに、関係人口と地域とのマッチングを促進する。
- ・ 鹿角家U25の活性化を図るため、地域活性化企業人・副業型の制度を活用した人材登用により、新規会員の獲得とふるさとへの愛着、Uターン機運の醸成に取り組む。
- ・ 学校法人武蔵野大学「ウェルビーイング学部」の誘致に向け、学部長による市内視察や講演会等を開催するほか、大正大学などの多様な大学の調査研究活動を支援し、鹿角キャンパス構想を推進する。

## **取組方針 23 販売重視型農業と6次産業化を進めます**

- ・ ブランド農畜産品については、かづの果樹センターなど地域一体となって市場の需要に応じた安定的な生産と高品質化を進めるとともに、県や地域商社、DMO、直売所等との連携により、農畜産物の販売促進に向けた支援を行う。

## **取組方針 24 稼げる観光振興を進めます**

- ・ 観光資源を最大限に活用し、地域全体の収益最大化を図るため、国・県・近隣自治体との広域連携に取り組むとともに、観光地域づくりの司令塔である地域連携DMOが実施するプロモーションやセールス活動を支援する。
- ・ 観光客が利用しやすい二次交通の確保を図るため、新たに十和田・小坂エリアにおける乗合タクシーの運行を開始し、鹿角エリアを周遊できる体制を構築する。
- ・ JR花輪線の利用促進について、県や沿線自治体と連携して地域住民の関心を高める。また、ミニツアーなど、魅力の発信や利便性の向上につながる取組を支援する。

## **取組方針 25 スポーツの力でまちの魅力を高めます**

- ・ 全国規模大会については、第80回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会におけるジャンプ・コンバインド競技を開催するなど、県や隣県と協力し継続的な開催につなげ、スポーツによるまちの魅力向上を図る。
- ・ 鹿角高等学校のスキー部・陸上部の生徒に対する下宿費用の支援を拡充し、「スキーと駅伝のまちづくり」をさらに推進するとともに、同校の魅力向上につなげる。
- ・ スポーツ少年団の社会体育化や部活動の地域移行の本格化を見据え、スポーツ指導員の新規資格登録等への費用を支援する。

## **取組方針 26 次世代産業の創出に取り組みます**

- ・ 女性や若者に選ばれる企業の誘致に取り組むため、企業誘致戦略に基づき実施したサテライトオフィスツアーや企業マッチングイベントでの折衝企業に対し、個別具体で積極的な誘致活動を実施する。
- ・ また、受入れ施設の候補となる「まちなかオフィス」は、新たな企業が入居しやすいよう改修し、効果的な利用を図るとともに、合わせてリモートワークやワーケーションの誘致にも取り組む。
- ・ 2030年のゼロカーボンシティの実現を目指し、脱炭素の推進にかかるPRや脱炭素行動事業者の認定、ゼロカーボンサポーターの登録など普及啓発を推進する。
- ・ かつのパーに売電する地域の再エネ電源の開発支援や県営水力等の電源確保に努めるほか、地域事業者や市民等への供給に加え、ふるさと納税の返礼品に登録するなどの域外供給も促進する。
- ・ エネルギー利用の効率化を促進するため、市内事業者や家庭の省エネ設備等の更新を支援するほか、EV車の試乗会や展示会などを開催する。
- ・ エネルギー産業フェアの視察やワークショップの開催、脱炭素経営セミナーの実施など、エネルギー産業への参入を目指した取組を進める。

## 経営戦略2 「世界遺産のまち」をつくる

### 取組方針27 文化財の保存に取り組みます

- ・ 住民や地域が一体となった地域振興や文化財の確実な継承を目指す「文化財保存活用地域計画」を小坂町とともに策定し、文化庁の認定を受けるとともに、計画に基づく文化財の活用に向けた体制づくりを進める。

### 取組方針28 ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます

- ・ 大湯環状列石保存活用計画に基づき、第二次環境整備事業に着手するため、令和6年度に引き続き、環境整備にかかる基本計画を策定する。また、学術的な価値の発信により遺跡の活用につなげるため、ストーンサークルシンポジウムを実施する。
- ・ 大湯環状列石を観光資源として活用して観光誘客を促進するため、修学旅行等の団体向けプログラムとして、縄文食体験やドローンによる航空記念撮影を行う。
- ・ 八郎太郎三湖伝説による広域連携や本市の伝統的・特徴的な食を「郷土食」としてPRし、滞在型観光の充実を図る。

## 経営戦略3 まちの経営力を高める

### 取組方針29 効率的な行財政運営を進めます

- ・ 旧十和田高等学校跡地の利活用について、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした市場性の有無を公募による対話で把握するとともに、跡地利用の方向性に関し

て、市民アンケート調査を実施する。

### **取組方針 30 未来技術の導入を進めます**

- ・ 行政手続きにおける利便性が広く知られるよう、電子申請サービスの普及を進めるとともに、アナログ規制の見直しを進める。

### **取組方針 31 多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めます**

- ・ 地域の課題解決やコミュニティの活性化に向けた取組を強化するため、地域づくりミーティングを継続開催するほか、ミーティングにおける提案等を具現化するための地域づくり協議会の取組を支援する。